

特別企画 11

日本肝臓学会・日本動脈硬化学会ジョイントセッション
 ～脂質代謝異常・MACE を踏まえ MASLD, MetALD の病態に迫る～

第 1 日目 6 月 13 日 (木) 15:10~17:10

第 13 会場 (熊本城ホール 6 階 602)

司会 芥田 憲夫 虎の門病院肝臓内科

小関 正博 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学

- SS11-1 高トリグリセライド血症を伴う糖尿病合併 NAFLD に対するペマフィブラートの有用性
 香川大学消化器・神経内科 森下 朝洋 (もりした あさひろ)
- SS11-2 Cardiovascular Continuum における心肝連関から考える MASLD/MASH の意義
 熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学 辻田 賢一 (つじた けんいち)
- SS11-3 心血管系イベントまで視野に入れた脂肪性肝疾患診療
 虎の門病院肝臓内科 芥田 憲夫 (あくた のりお)
- SS11-4 代謝障害関連脂肪肝炎の形成における miR-33b の役割についての検討
 京都大学医学部附属病院循環器内科 堀江 貴裕 (ほりえ たかひろ)
- SS11-5 メダカを用いた脂肪性肝疾患の多臓器合併症の検討
 新潟大学医学部医学科総合診療学講座 上村 顕也 (かみむら けんや)
- SS11-6 脂肪肝炎マウスモデルにおける多臓器障害とそれに対するペマフィブラート, トホグリフロジンの効果
 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 小関 正博 (こせき まさひろ)